

高信頼製品の短期間開発の実現のために 実践に役立つ品質工学による発想転換 入門講座 ～技術体質を変えなければ、生き残れない～

◆開催要領◆

●日 時● 2015年 8月 3日(月) 13:00～17:00

●会 場● 「企業研究会セミナールーム」(東京・麹町) 東京メトロ麹町駅より徒歩5分

講師 のっぽ技研 代表 長谷部 光雄 氏(元リコー技師長)



【講師紹介】名古屋大学理学部物理学科を卒業後、株式会社リコーに入社。複写機やレーザープリンターの技術開発と製品開発に従事。この間、国内外で50件以上の特許を取得。技術開発センター所長などを経過後、リコーのグループ会社全体を対象に、品質工学の指導と推進を担当。1992年に電子写真学会(現、日本画像学会)の技術賞を、2010年に品質工学会の金賞をそれぞれ受賞。2009年に株式会社リコーを退職。品質工学のコンサルタントとして活動を開始。現在、国内40か所以上での講演やセミナーを行うほか、数社での技術指導を続けている。品質工学会会員、日本諫励生学会会員、日本品質管理学会会員、企業研究会主催「品質革新マネジメントフォーラム」アドバイザー。著書に、『タグチメソッドのはなし』(日科技連)、『ベーシックタグチメソッド』(日本能率協会マネジメントセンター)、『続・技術者の意地』(日本規格協会)、『はじめよう!カンタンTRIZ』(共著、日本工業新聞社)、『品質力』の磨き方』(PHPビジネス新書)、『タグチメソッドがよ〜く分かる本』(秀和システム)など多数。

◆ご参加頂きたい方◆

本社・事業部・工場での品質保証部門の責任者・マネージャー・ご担当者等を対象

● 受講料 ● 1名(税込み、資料代含む)

一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛

正会員	32,400円(本体価格30,000円)
一般	35,640円(本体価格33,000円)

申込書 FAX: 03-5215-0951

※申込書をご送信頂く際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

■参加要領

申込書はFAX、または下記担当者宛E-mailにてお送り下さい。以下の当会ホームページからもお申し込みいただけます。後日、(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送りします。

*よくあるご質問(FAQ)は当会ホームページにてご確認ください。([公開セミナー]→[よくあるご質問])

*お申込後のキャンセルはお受けしかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理の方のご出席をお願いいたします。

*最少催行人数に満たない場合には、中止とさせていただきますので、ご了承下さい。

■お申込・お問合せ先

一般社団法人企業研究会 セミナー事務局

(担当)鈴木 E-mail:a-suzuki@bri.or.jp

TEL:03-5215-3550 FAX:03-5215-0951

東京都千代田区麹町5-7-2 麹町31MTビル2F

151304-1111	2015.08.03 実践に役立つ品質工学による発想転換 入門講座		
ふりがな 会社名			
住所	〒		
TEL		FAX	
ふりがな ご氏名		所 属 役 職	
E-Mail			
ふりがな ご氏名		所 属 役 職	
E-Mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

● プログラム ●

8月3日
(月)

13:00

【講師よりコメント】

日本のものづくりの後を追って急成長してきた韓国や中国が、曲がり角に立っていることから分かるように、今まで成功してきた“ものづくりの流れ”は急速に変化しています。日本の企業が今後、生き残るためには、製品開発の流れを変え、従来の常識や価値観からも離れ、製品開発や実験方法の枠組みを革新しなければなりません。そこで今回のセミナーでは、技術体質の革新をめざす「実践に役立つ品質工学」の基本的な考え方を解説して、その一部を体験するプログラムとして行います。

1. リコールに代表される現在の課題は「見えない品質」である

- (1) 見えない不良は、管理の手法の限界を示す
- (2) 品質管理の基本は出荷品質の管理であり、市場品質の管理ではない

2. 品質管理や統計的手法や信頼性工学などの従来の手法には限界がある

- (1) 統計的手法には、大量のデータが必要である
- (2) 信頼性の確認には、長時間のテストが必要である
- (3) 理論説明には、長期間が必要である

3. 品質工学による発想の転換の基本的な考え方

- (1) 品質そのものではなく、本質の特性に注目する
- (2) ばらつきは大きくしてから測定せよ

4. 成功事例の紹介と成功理由の解説

- (1) 信頼性テストを、1/100に短縮した事例の紹介
- (2) 具体的な実施内容と、その理由を解説

5. 例題を使った考え方の演習

- (1) 例題をグループで討議する
- (2) 討議結果を発表し合い、全体で討論し、理解を深める

6. まとめと質疑応答

途 中
休憩タイム
あ り

17:00

講 師 のっぽ技研 代表 長谷部 光雄 氏 (元リコー技師長)